

あなたに迫る！サイバー犯罪

宮城県仙台第三高等学校 普通科-20班

本探究に至った経緯

私たちは、普段身近に迫っている危険の一つとして、犯罪という大きなテーマに目を向けた。そこで犯罪件数の推移(下図)を調べたところ、平成14年ごろより減少していた犯罪件数が令和3年で増加傾向に転じたことがわかった。

そこで私たちは日頃の生活の中で警戒意識が特に低い犯罪があり、その犯罪件数を減らすことが全体の犯罪件数の減少につながるのではないかと仮説をたて、その犯罪とはなにか解明することにした。そして実際に調べてみた結果、「サイバー犯罪」がそれに該当するのではないかという結論になった。

刑法犯認知件数

サイバー犯罪の現状

・被害者の年齢層の低下

「詐欺」と聞くとやはり高齢者の問題であるというイメージが多くあると思うが、フィッシング詐欺などはSNSなどを介して行われるので、若い人が被害に遭っているケースが多くある。

⇒その以前からの影響で意識や関心が低くなってしまっているのではないか

・“見えない被害”的発生

年齢層が低下することで発生しやすくなっている事案

高校生などがpaypayなどの電子マネーサービスやその他のサービスを介することで詐欺被害に遭った際に、親に怒られたり、スマホやインターネットを使用することを禁止するといったことをされてしまうのを恐れて、その被害を言い出さずに泣き寝入りしてしまう

それによって、警察としても被害をすべて認識することが難しい状況になっている

つまり自分たち自身での対策だったりより関心を高めて行く必要がある

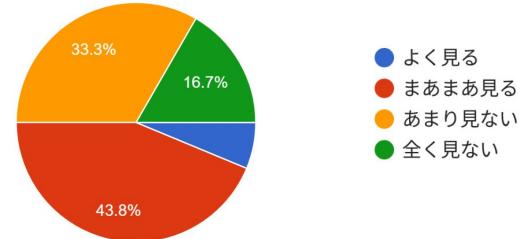
アンケートとその調査結果

対象: 三高生

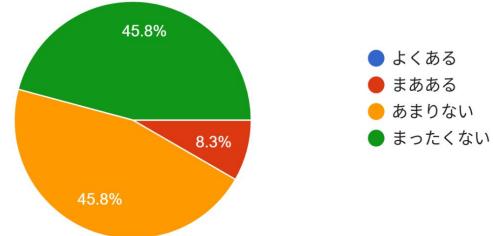
内容:

治安に関する世論調査とほぼ同様の質問(自分が不安に感じる場所など)やインターネットの使用状況など

普段サイバー犯罪に関する情報をどの程度目にしますか



普段サイバー犯罪についてどの程度調べる機会がありますか



三高生の現状

→普段あまりサイバー犯罪の情報を見ず、サイバー犯罪への意識、関心が低いのではないか

まとめ

日本においてフィッシング詐欺などのサイバー犯罪の被害が大きく上昇しているのにもかかわらず日本国民(特に若い人)の意識や関心が低くなっている

被害額は非常に大きくなっているし、様々な新しい種類の犯罪(闇バイト、偽の投資広告など)も増えてきており警戒していかなければならない

最後に

みなさんが当たり前に知っておきたいサイバー犯罪についての知識をクイズとして作させていただきました！良ければ、このクイズに回答してサイバー犯罪のことをより知っていただけます！



参考文献

- 1) 治安に関する世論調査(令和3年12月調査) <https://survey.gov-online.go.jp/hutai/r03/r03-chian/r03-chian.pdf>
- 2) (平成29年9月調査) <https://survey.gov-online.go.jp/hutai/h29/h29-chiang.pdf>
- 3) (平成24年7月調査) <https://survey.gov-online.go.jp/hutai/h24/h24-chian.pdf>
- 4) 令和5年の犯罪情勢(警察庁) https://www.npa.go.jp/publications/statistics/crime/situation/r5_report.pdf